おまかせクラウドアップセキュリティ

ライティングスタイル分析
有効化手順

ＮＴＴ東日本株式会社

変更履歴

年月	版	変更内容等
2021年08月30日	第1.0版	初版制定
2022年06月21日	第1.1版	表紙記載の組織名を変更
2024年04月22日	第2.0版	新規管理コンソール画面仕様に差し替え
2025年06月17日	第2.1版	2025年7月1日会社名変更に伴う更新　東日本電信電話株式会社→ＮＴＴ東日本株式会社

目次

【1】	学習機能有効化設定手順
【2】	ライティングスタイル分析有効化手順
【3】	ライティングスタイル分析参考資料

【1】学習機能有効化設定手順

高プロファイルユーザ設定手順（1）

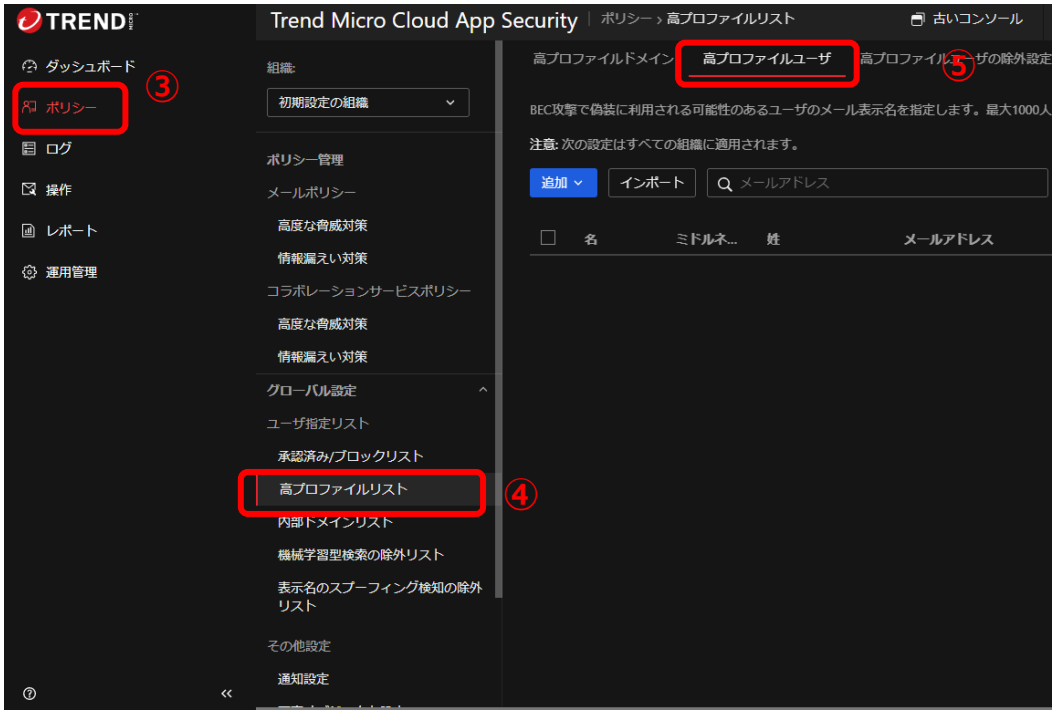
1. コンソール画面ログイン

アカウントIDとパスワードを入力して「**ログイン**」を押下します。

①左図画面が表示された場合のみ、
「**2要素認証設定を行う**」を押下します。
※設定方法は別紙をご参照ください。

高プロファイルユーザ設定手順（2）

②「**コンソールを開く**」を押下します。



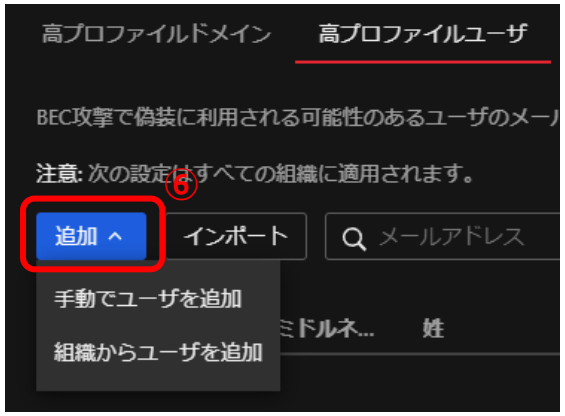
コンソール画面にログインできていることを確認します。

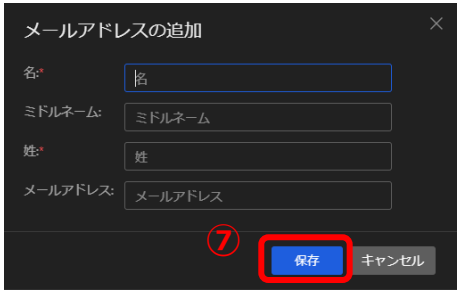
③「**ポリシー**」を押下します。

④「**高プロファイルリスト**」を押下します。

⑤「**高プロファイルユーザ**」を押下します。

高プロファイルユーザ設定手順（3）

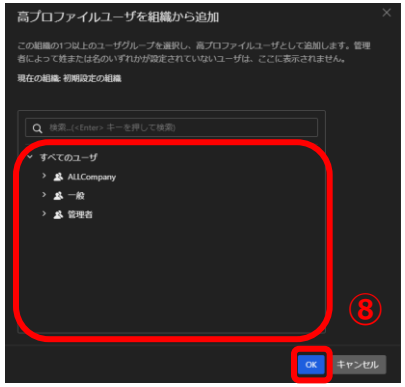




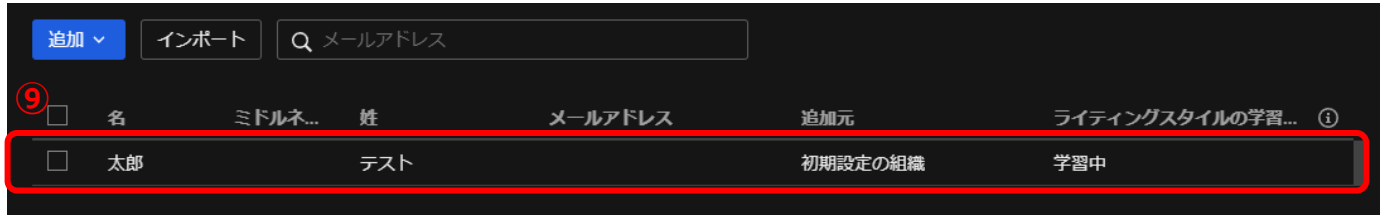
⑥ウィンドウ表示後、BEC攻撃で偽装に利用されるユーザを追加します。
「**追加▼**」>「**手動でユーザを追加**」または「**組織からユーザを追加**」を押下します。

※ユーザ設定は独自にユーザ名やメールアドレスを設定できます。
※グループ設定はCASに登録されているユーザ情報から設定します。

⑦「**ユーザ**」から追加を行う場合は以下を参照します。
ウィンドウ出現後、必須項目(*マーク)を入力し、「**保存**」を押下します。

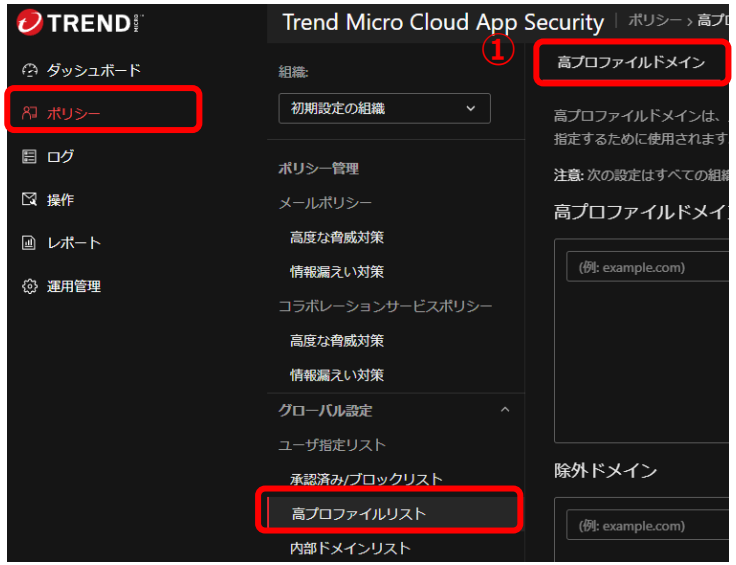


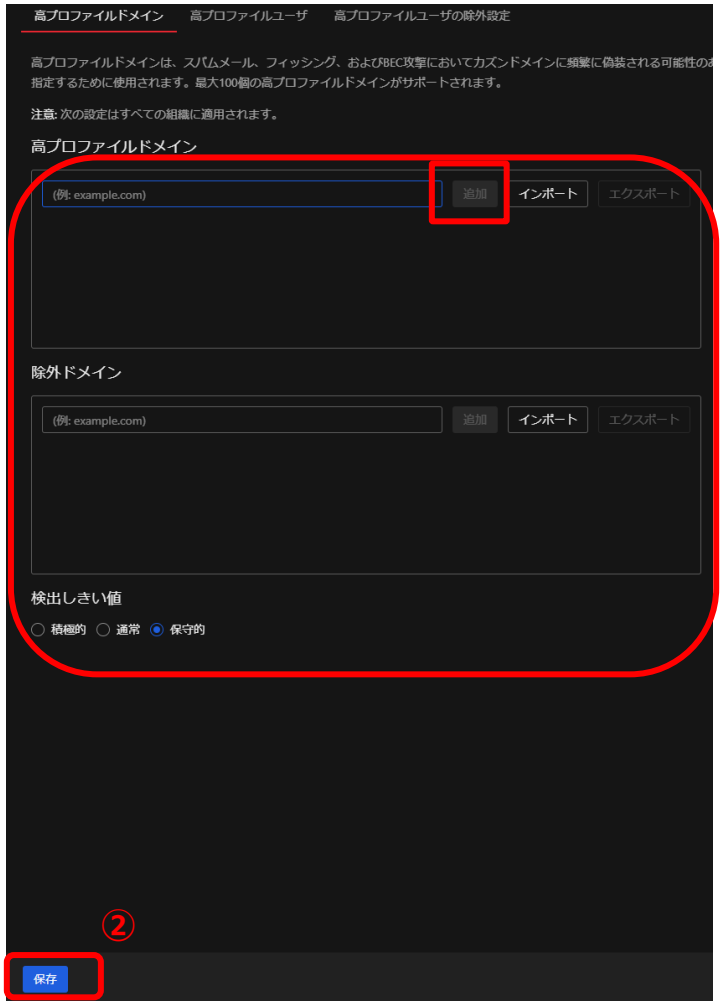
⑧「**グループ**」から追加を行う場合は以下を参照します。
対象とするユーザにチェックを入れ、「**OK**」を押下します。



⑨設定したユーザが登録され、「**ライティングスタイルの学習ステータス**」が学習中になっていること確認します。
※1.登録を削除する場合、「姓」欄左のチェックボックスを選択し、「削除」を押下します。
※2.学習が完了するとステータスが「**学習中**」から「**完了**」に変化します。P.14以降参考資料にてご確認ください。
※3.学習完了には設定後800通程度のメールを読み込ませる必要があります。
　また、いくつかのパターンのメールツールなどでを大量に送付した場合、正常に学習が完了しない場合があります。

高プロファイルドメイン設定手順（1）





①左部「**ポリシー**」より「**高プロファイルドメイン**」を押下します。

②ウィンドウ表示後、BEC攻撃等で偽装に利用される可能性がある
ドメインを追加します。
「**高プロファイルドメイン**」に設定ドメインを入力し「**追加**」を押下します。

また、検閲対象外とするドメインも同様に「**除外**」で設定することができます。

対象の入力が完了後、「**保存**」を押下します。

内部ドメイン設定手順（1）

①左部「**ポリシー**」より「**内部ドメイン**」を押下します。

②ウィンドウ表示後、企業で利用しているドメインを追加します。
「**ドメイン名**」に設定ドメインを入力し「**追加**」を押下します。
※初期アクティベーションを行ったドメインは自動で登録されている場合があります。

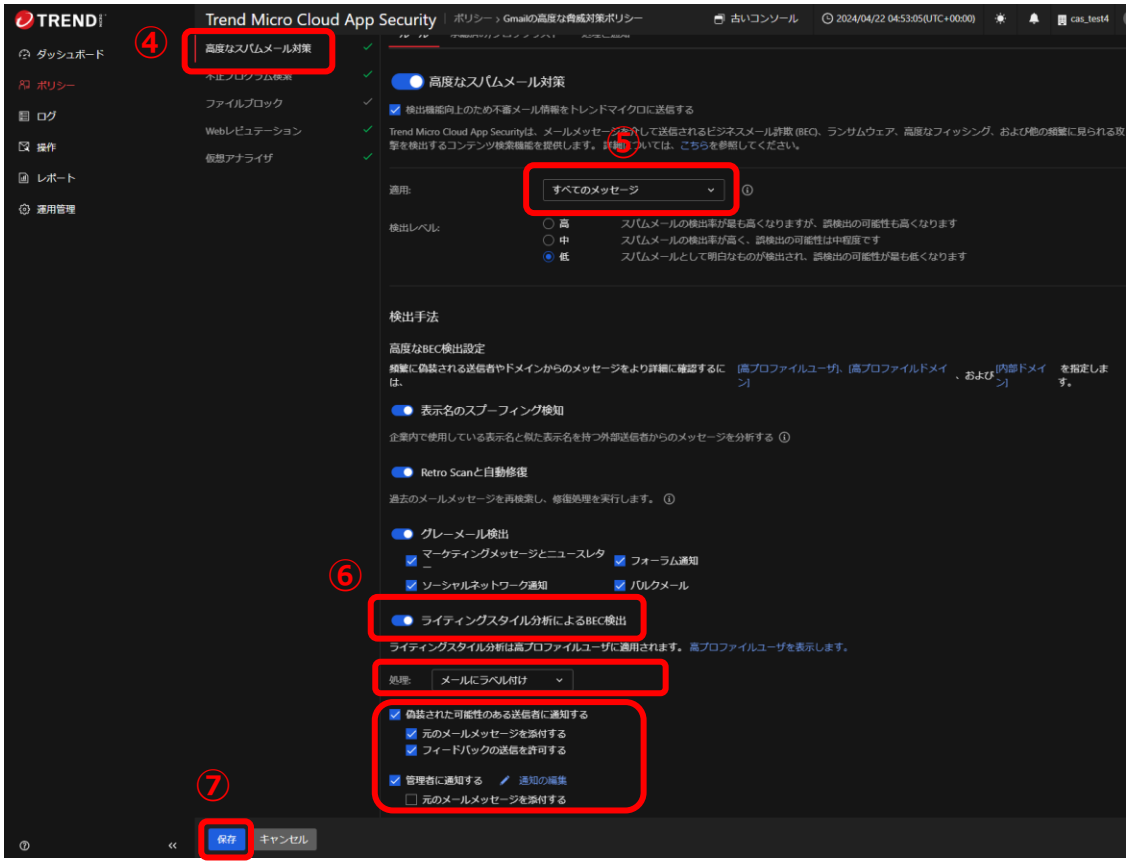
【2】ライティングスタイル分析
有効化手順

ライティング分析有効化手順（1）

①左部「**ポリシー**」より**メールポリシー**の「**高度な脅威対策**」を押下します。

②設定を行うクラウドアプリケーションのポリシーをオンにし、設定を行うクラウドアプリケーションのポリシーを選択します。
本項目は「Gmail」または「Exchange Online」にのみ適応できます。

ライティング分析有効化手順（2）



③対象の「**初期設定の・・・**」を押下します。

④ウィンドウ表示後、「**高度なスパムメール対策**」タブを押下します。

⑤ルールの適用を「**受信メッセージ**」から「**すべてのメッセージ**」に変更します。

⑥「**ライティングスタイル分析を有効にする**」にチェック。

以下は個別にて任意の設定を実施します。
・「**処理：**」をプルダウンから任意のものに設定します。

・「**偽装された可能性のある送信者に通知する**」場合はチェックします。
※「**元のメールメッセージを添付する**」または「**フィードバックの送信を許可する**」オプションを有効にする場合はチェックをします。

・「**管理者に通知する**」場合はチェックします。
※「**元のメールメッセージを添付する**」場合はチェックをします。

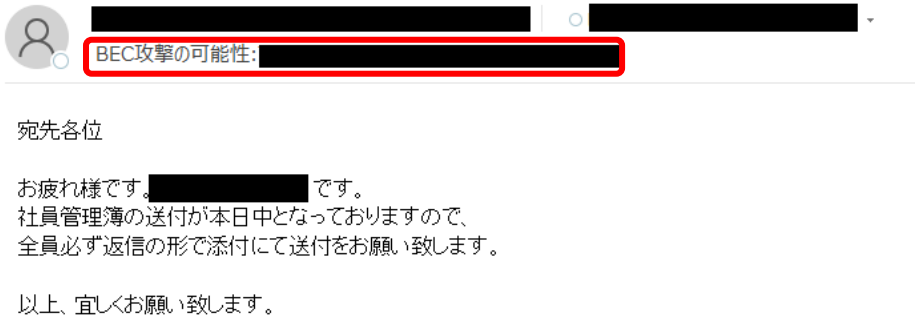
⑦任意設定が完了次第、「**保存**」を押下します。
※「**高度なスパムメール対策**」が有効になっていないと機能しないため、注意します。

【3】ライティングスタイル分析
参考資料

ライティング分析参考資料（1）

・ライティングスタイルの学習完了時ステータス参考画面
学習が完了すると「**学習中**」から「**完了**」へ変化します。

・ライティングスタイル分析の学習からBECと疑わしきメールを受信した際のポリシー実行後メール
「**件名にタグを挿入**」を指定し、本来の件名の前に指定した文字列が挿入されます。



ライティング分析参考資料（2）

・ライティングスタイル分析による学習によってBECと疑わしきメールに対してポリシーを実行した管理者への通知メール
処理が行われたアイテムの詳細などが管理者に通知されます。

・トレンドマイクロ社からの検知機能向上におけるフィードバック依頼メール
「はい」及び「いいえ」を押下するとトレンドマイクロ社へ接続され情報が送信されます。
※任意実行となります。